

柏崎刈羽原子力発電所 指摘事項に対する回答整理表(工認)(設計用床応答曲線の作成方針)

提出年月日:2020年4月10日
東京電力ホールディングス株式会社

NO	図書			指摘日	コメント内容	回答日	状況	回答	資料等への 反映箇所	備考
1	V-2-1-7	V-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針	P8	2019/12/13	FRS作成方法のフロー図について、設計用床応答曲線Ⅱも含めて示すこと	2020/3/12	回答済	FRS作成方法のフロー図について、設計用床応答曲線Ⅱも含めたものに修正しました。	KK7添-2-007改1 V-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針(P.8)	
2	—	設計用床応答曲線の作成方法及び適用方法についての補足説明資料	補足P3	2019/12/13	材料物性の不確かさ等を考慮したケースの組合せについて、関連図書を記載するなど、わかるように示すこと	2020/3/12	回答済	解析ケースの整理表(表2-2)に、参照した各建物・構築物の地震応答計算書の図書番号を追記しました。	KK7補足-028-1-1改1 設計用床応答曲線の作成方法及び適用方法についての補足説明資料(P.3)	
3	V-2-1-7	V-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針	—	2019/12/13	各設備の評価において使用している設計用床応答曲線(I or II)を示すこと		今回回答	各設備の耐震計算書に適用する設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度を纏めた整理表を作成しました。	KK7補足-028-1-1改2 設計用床応答曲線の作成方法及び適用方法 添付資料1	
4	V-2-1-7	V-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針	P9	2019/12/13	FRSの運用として、重心位置のスペクトルを使う等、合理的な方法を適用する場合は、その方法について説明すること。	2020/3/12	回答済	FRSの運用として、重心位置のスペクトルを使う方法を説明する資料を作成しました。	KK7補足-028-10-17改0 配管解析における重心位置スペクトル法の適用について(新規作成)	
5	—	設計用床応答曲線の作成方法及び適用方法についての補足説明資料	補足P7	2019/12/13	図4-1に各解析ケースの結果を追記する等により、各解析ケースが設計用床応答曲線Ⅰに包絡されていることを示すこと。	2020/3/12	回答済	図4-1に各解析ケースの結果を追記し、各解析ケースが設計用床応答曲線Ⅰに包絡されていることを示しました。	KK7補足-028-1-1改1 設計用床応答曲線の作成方法及び適用方法についての補足説明資料(P.7)	
6	V-2-1-7	V-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針	P16~18	2019/12/13	R/B-RPV連成モデルについて、鉛直方向のみ炉内構造物を含めたモデルとしているのか説明すること		今回回答	KK7補足-028-2-2改0において、鉛直モデルとして炉内構造物のみとしている理由を記載しました。	KK7補足-028-2-2改0 建屋一機器連成地震応答解析の補足について	
7	V-2-1-7	V-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針	—	2019/12/13	FRSを20Hzで打ち切っていることについて、解析上の配慮等も踏まえて、妥当であることを示すこと	2020/3/12	回答済	FRSを20Hzで打ち切っていることについて、解析上の配慮等も踏まえて、妥当であることを示す資料を作成しました。	KK7補足-028-1-2改0 機器・配管系の耐震設計における剛柔判定を行う固有周期について(新規作成)	